

事務連絡
令和8年2月6日

新見農業普及指導センター

大雪に関する気象情報について

広島地方気象台の発表（2月5日15時51分）によると、8日頃には、中国地方の上空約5000メートルに氷点下36度以下の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まる見込みです。中国地方では、8日頃は大雪となり、雪雲が予想より発達し、同じ場所で降り続いた場合には、警報級の大雪となる恐れがあり、ビニールハウス等の施設や農作物等への影響が懸念されます。

このため、今後、最新の気象情報に御留意いただき、令和7年12月3日付け、季節情報No.3を参考に各地域で適切な技術指導をお願いします。

なお、作業者の安全確保を最優先に二次災害の防止を徹底するよう、併せて注意喚起をお願いいたします。

大雪に関する中国地方気象情報 第1号（令和8年02月05日15時51分 広島地方気象台発表）

[気象概況]

8日頃には、中国地方の上空約5000メートルに氷点下36度以下の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まる見込みです。

[雪の予想]

中国地方では、8日頃は大雪となり、雪雲が予想より発達し、同じ場所で降り続いた場合には、警報級の大雪となる可能性があります。

7日18時から8日18時までに予想される24時間降雪量は多い所で、

山陽 山地 50センチ

山陽 平地 20センチ

山陰 山地 50センチ

山陰 平地 30センチ

<参考>

農作物の冬季管理と低温・降雪対策について（季節情報No.3）

<https://www.pref.okayama.jp/site/22/1009872.html>